

## 河川砂防技術開発公募(流域計画・流域管理課題分野)研究一覧

(平成22年度～令和2年度まで実施)

年度	研究テーマ名	期間	所属機関	研究代表者
H31	車両通行情報を活用した洪水氾濫モニタリングシステムの構築	H31～ H32(R2)	東京理科大学	二瓶 泰雄
H30	河川整備が進んだ河川流域における復興デザインの探究と水防災意識の再構築	H30～ H32(R2)	大分大学	小林 祐司
	要配慮者施設における水害タイムライン策定支援に関する研究	H30～ H32(R2)	山口大学	榊原 弘之
	地域のタイムライン防災を軸とした住民目線での地域ハザード情報を活用した生活防災タイムラインの開発	H30～H31	大阪工業大学	田中 耕司
	水災害リスクカーブ推定手法の高度化と社会変化・気候変化適応策評価への適用	H30～H31	京都大学	田中 智大
	菊池川流域における日本遺産を核としたかわまちづくり文化の再興	H30～ H32(R2)	熊本大学	田中 尚人
H29	避難遅れゼロを実現するための「みんなでタイムラインプロジェクト」自治体全域展開方策に関する研究	H29～H31	筑波大学	川島 宏一
	豪雨による都市浸水のモニタリングと対策支援技術の開発	H29～H30	中部大学	武田 誠
H28	産官学民協働の水害に強い街づくりのためのリスクコミュニケーション手法の構築	H28～H30	山梨大学	鈴木 猛康
	気候変化下における最大クラス洪水推定と水害リスク変容評価	H28～H30	金沢大学	谷口 健司
	堤防脆弱性タイムラインと破堤氾濫予測に基づいた堤防強化対策及び氾濫危機管理技術に関する研究	H28～H29	中央大学	田端 幸輔
	不確実性下における高潮浸水リスク適応政策の経済評価	H28～H30	熊本大学	藤見 俊夫
	超過洪水にも適応できる次世代防災都市へのコンパクト化・スマートシュリンク化に関する研究	H28	福岡大学	村上 哲
H27	将来の人口変動を踏まえた治水安全度バランスの適正化方策に関する研究	H27～H28	いであ株式会社	荒木 智三
	総合確率法を基礎とした水災害リスクカーブ作成手法の開発	H27～H28	京都大学	市川 温
	水害リスク情報を活用した新たなまちづくり手法の減災効果及び社会的影響・課題の動的変化に関する分析	H27～H29	土木研究所	大原 美保
H26	激特事業を完了した河川流域における継続的な地域防災力保持のための実践的研究	H26～H27	鹿児島大学	安達 貴浩
	浸水リスクの変化とその提示内容改善が将来の人口分布・土地利用に与える影響とそれらを考慮した水害リスク軽減対策に関する研究	H26～H27	八千代エンジニアリング株式会社	石徹白 伸也
	大規模浸水のリスク管理と流域住民の被害最小化のための総合研究	H26～H27	佐賀大学	大串 浩一郎
	行政と住民間の連携を考慮した河川環境改善と水害リスク軽減に関する研究	H26～H28	琉球大学	神谷 大介
	高度数値解析による河川氾濫詳細被害情報を活用した災害時のコミュニティバス活用方策の研究開発	H26～H28	埼玉大学	小嶋 文
H24	関係主体間の境界領域における対応の遺漏に着目した洪水ハザードマップの活用状況と住民の防災・減災意識形成の実態分析	H24～H26	広島大学大学院	塚井 誠人
H23	水害ハザード情報の都市計画系の計画への反映状況の実態把握と都市計画的手法による市街地が抱えるリスクの低減可能性の分析	H23～H24	東京大学	加藤 孝明
H22	氾濫域におけるPPPによる流域管理及び地域計画の融合に関する研究	H22～H24	(社)日本プロジェクト産業協議会	石田 有三
	河川整備基本方針・河川整備計画と都市計画基礎調査・都市計画マスタープランの相互連携策の検討	H22～H23	日本大学	大沢 昌玄

※ 平成25年度は新規課題の採択なし